

太平洋

モルトツブ

左官用既調合モルタル

LINE-UP

#5E

#20

#30

#100



太平洋マテリアル株式会社

TAIHEIYO MORTOP

使い易さと安定した品質をお届けします。

●左官用既調合モルタル 「太平洋モルトップ」

セメント、普通細骨材を始めとする各種骨材、作業性向上材などを合理的に混ぜ合わせた左官用既調合モルタルです。シリーズとして、施工箇所、塗り厚さ、作業性などに合わせて4種類を取り揃えました。

モルトップ 一材型薄塗り調整用

#5E

適用分類 ● 薄塗り調整用
主成分 ● セメント、普通骨材、粉末樹脂、作業性向上材
用途 ● 目違い・ピンホールなどの薄付け調整、全面ごき調整、ペンキ下地用調整

塗り厚さの目安 ● 0~2mm
塗面積の目安 ● 16㎡/袋・1mm
積上がり容積(ℓ/袋) ● 16



モルトップ 汎用調整用

#20

適用分類 ● 汎用調整用
主成分 ● セメント、普通骨材、焼成骨材、作業性向上材
用途 ● 目違い・ピンホールなどの薄付け調整、増し塗り、天井・壁・柱・梁の面出し調整、プレキャスト製品の補修・調整

塗り厚さの目安 ● 2~4mm
塗面積の目安 ● 11㎡/袋・2mm
積上がり容積(ℓ/袋) ● 22



モルトップ 厚塗り調整用

#30

適用分類 ● 厚塗り調整用
主成分 ● セメント、普通骨材、軽量骨材、作業性向上材、繊維用
用途 ● 目違いなどの調整、穴埋め、増し塗り、一般下地調整

塗り厚さの目安 ● 4~10mm
塗面積の目安 ● 4㎡/袋・5mm
積上がり容積(ℓ/袋) ● 21



モルトップ タイル下地調整用、床用

#100

適用分類 ● タイル下地調整用、床用
主成分 ● セメント、普通骨材、作業性向上材
用途 ● 穴埋め、増し塗り、タイル下地調整、床調整

塗り厚さの目安 ● 4~10mm
塗面積の目安 ● 3㎡/袋・5mm
積上がり容積(ℓ/袋) ● 15



●各種試験データ

試験項目	名称・番手	(比較) 1:3モルタル	モルトップ				
			#5E	#20	#30	#100	
強さ試験 N/㎡ [kgf/cm ²] JIS R 5201に準じた。ただし、養生方法は打ち込み1日後脱型、その後乾燥養生とした。	試験時気乾比重	1.85	1.50	1.43	1.28	1.70	
	曲げ	7日	5.5 [56]	2.4 [24]	3.0 [31]	3.6 [37]	6.1 [62]
		28日	6.7 [68]	4.8 [49]	5.8 [59]	4.2 [43]	7.4 [75]
	圧縮	7日	23.0 [235]	12.8 [131]	21.1 [215]	12.0 [122]	18.8 [192]
		28日	32.4 [331]	16.8 [171]	22.6 [231]	13.1 [134]	28.4 [290]
接着強さ試験 N/㎡ [kgf/cm ²]	塗り厚さ (mm)	8	1.0	3.0	5.0	5.0	
	接着強さ	7日	0.7 [7]	1.2 [12]	1.3 [13]	1.0 [10]	1.2 [12]
		28日	1.2 [12]	1.5 [15]	1.9 [19]	1.3 [13]	2.3 [23]
吸水試験 JIS A 1404に準じた。	吸水量 (g)	1時間	23	9	8	9	5
		5時間	38	19	15	16	11
		24時間	45	27	24	28	16
	吸水比	1時間	100	39	35	39	22
		5時間	100	50	39	42	29
		24時間	100	60	53	62	36
透水試験 JIS A 1404に準じた。	透水量 (g)	11.3	6.4	5.8	9.5	5.5	
	透水比	100	57	51	84	49	

※モルトップ#20、#30、#100にはモルトップエマルジョンを袋当たり1ℓを混入。

★注意★

- 太平洋モルトップはセメント同様アルカリ性を示します。誤って眼に入った場合は、直ちに清水で十分に洗浄し、医師の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので直ちに水洗して下さい。
- 太平洋モルトップはカタログに記載されている方法で使用して下さい。

モルタル接着増強剤 (塗布・混入両用型)

モルトツプ エマルジョン

太平洋モルトツプ専用の混和剤です。耐水性、耐アルカリ性、耐候性に優れ、安定した接着力が得られます。また、セメントモルタル塗り用吸水調整材及びセメントモルタル混和用ポリマーディスページョンとしても使用できます。



- 成分 エチレン酢酸ビニール共重合樹脂系エマルジョン(EVA系)
- 性状

外観	乳白色懸濁液	粘度(25℃)	1000±300mPa・s
固形分	45±1%	比重	1.0±0.1
pH	6±1		
- 用途
 - モルトツプの専用混和剤
 - 下地の吸水調整材
 - セメントモルタル混和用ポリマーディスページョン
- 使用方法☆詳細はモルトツプの使用方法を参照して下さい。
 - ①モルトツプ#20、#30、#100の1袋当たり1~2ℓを混入して下さい。
 - ②下地の吸水調整材として使用する場合は、下地の状況に合わせて3~5倍液に調整し、刷毛、ブラシなどで均一に塗布して下さい。
- 注意事項☆詳細はモルトツプの使用上の注意事項を参照して下さい。保管については、3~40℃の状態とし、直射日光の当たる場所を避けて下さい。なお、使い残しの場合は必ず密栓状態にて同様の条件で保管して下さい。

※「モルトツプ」#20、#30、#100には専用のエマルジョン(混和剤)である「モルトツプエマルジョン」を併用してご使用下さい。

施工方法

●練り混ぜ方法

下記の標準配合を目安にして“あわ”が巻き込まないように注意して、適正施工軟度になるように練り混ぜて下さい。ミキサーはハンドミキサーや左官用ミキサーをご使用下さい。

尚、塗り易い「モルトツプ」の練り混ぜの“コツ”は、一度練り混ぜた材料を10~20分後に〈練り返し〉を行うことです。

●標準配合(1袋当たりの配合)

種類	モルトツプエマルジョン	清水	備考
モルトツプ#5E	—	7.5~8.0 ℓ	標準配合とはフロー値で180~200を設定しています。略配合としますと#20、#30、#100をモルトツプエマルジョンの6~8倍液で適正軟度になるように練り混ぜて下さい。
モルトツプ#20	1~2 ℓ	8.5~7.5 ℓ	
モルトツプ#30	1~2 ℓ	7.5~6.5 ℓ	
モルトツプ#100	1~1.5 ℓ	3.5~3.0 ℓ	

●下地処理

①下地面のレイタンス、塵埃、油分、汚れ、硬化不良部分などはブラシ、サンダー、洗剤などで適切に処理して下さい。また、著しい不陸がある場合は、塗り付け前に処理して下さい。

②塗り付け部分は、充分な水湿しを行うか、「モルトツプエマルジョン」の3~5倍液を事前に塗布して下地への吸水を調整して下さい。

●塗り付け

①適正施工軟度に練り混ぜた「モルトツプ」を、施工面に押さえつけるように均一に塗り付けて下さい。

②厚塗りの場合はタイミングを見計らって2~3回に分けて塗り付けて下さい。

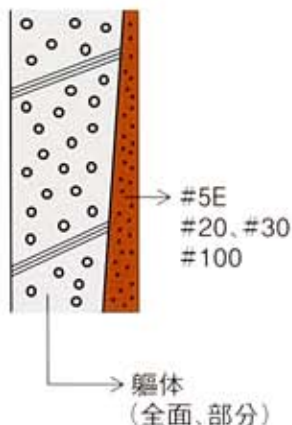
尚、下塗りと上塗りに分けて施工する場合は、下塗り後2週間を目処に養生を行い、上塗りを掛けて下さい。

●養生

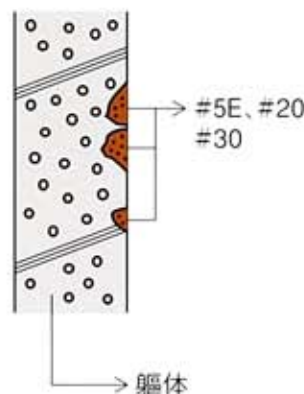
塗り付け後の養生は、普通のモルタルと同様に充分な湿潤養生を心掛けて下さい。

施工仕様例

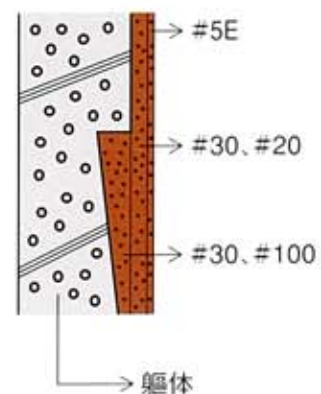
単層薄付け調整



部分補修調整



組み合わせ調整



●使用上の注意事項●

太平洋モルトップの使用方法を誤ると、モルトップ塗り付け面のひび割れ、浮き、剥離の現象を引き起こします。

太平洋モルトップの使用に当たっては以下の事項を厳守してご使用願います。

- ①太平洋モルトップは左官用既調合モルタルです。他の材料（セメント・砂等）との混合は絶対に避けて下さい。
- ②下地面のレイトランス、塵埃、油分、汚れ、硬化不良部分などは充分に取り除いて下さい。
- ③下地の吸水調整材には「モルトップエマルジョン」の3～8倍希釈液をご使用下さい。希釈に当たっては、間違えないようにして下さい。
- ④ALC板などの吸水の激しい下地の場合は、「モルトップエマルジョン」の3～5倍希釈液をムラなく2回以上塗布し、下地への吸水を調整して下さい。
- ⑤#20、#30、#100には専用混和剤の「モルトップエマルジョン」を必ず規定量、混入して下さい。
- ⑥施工時には下地と「モルトップ」の間に空気が入らないように始めに薄めのごき塗りを行い、所定の仕上がり厚さに塗り付けて下さい。それでも空気を巻き込んだ場合は、鏝で空気を抜いて仕上げして下さい。
- ⑦モルトップ#30、#100の場合、塗り厚さは最大でも9mm程度とし、《一度のドカ付け》は“浮き”の原因になりますので、絶対に避けて下さい。
- ⑧焼成軽量骨材を使用している番手（#20、#30）は、エポキシ樹脂のような凝集力の強い材料を「モルトップ」の上に施工することは避けて下さい。また、施工面をそのまま表面仕上げにすることは避けて下さい。
- ⑨夏場での直射日光の当たる場所や風通しの強い所での施工は避けて下さい。やむを得ず施工を行う場合は、適切な養生を行って下さい。
- ⑩気温が5℃以下の場合や、硬化初期に同様な条件になる場合は、施工を見合わせて下さい。やむを得ない場合は、必ず適切な保温、採暖処置を行って下さい。

●保管

セメントと同様に雨露のかからない、湿気の少ない場所で保管して下さい。



URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

本 社	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町4-8-15	ネオカワイビル
		営業本部 建築資材営業部	☎03-3278-5318
北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西5-1-4	三井生命札幌共同ビル ☎011-221-5855
東北支店	〒980-6020	宮城県仙台市青葉区中央4-6-1	住友生命仙台中央ビル ☎022-221-4511
青森営業所	〒033-0074	青森県上北郡六戸町小松ヶ丘2-77-608	☎0176-53-3213
岩手営業所	〒020-0021	岩手県盛岡市中央通1-11-15	村上第二ビル ☎019-654-5375
秋田営業所	〒014-0073	秋田県大仙市内小友字伊豆沼35	☎090-4634-8062
東京支店	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町4-8-15	ネオカワイビル4階 ☎03-3278-5330
横浜営業所	〒230-8511	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5	☎045-503-6651
東関東営業所	〒260-0013	千葉県千葉市中央区中央4-16-1	建設会館ビル ☎043-202-3771
北関東営業所	〒360-0162	埼玉県熊谷市大字村岡2453	☎048-536-3091
新潟営業所	〒950-0087	新潟県新潟市東大通1-4-1	マルタケビル ☎025-244-7799
北陸支店	〒920-0031	石川県金沢市広岡3-1-1	金沢パークビル ☎076-234-1670
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市中区太閤3-1-18	名古屋KSビル ☎052-452-7141
静岡営業所	〒420-0857	静岡県静岡市葵区御幸町11-30	エクセルワード静岡ビル ☎054-221-0018
関西支店	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島2-2-2	ニチメンビルディング ☎06-6228-6660
中国支店	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23	三井生命広島駅前ビル ☎082-261-7191
山陰営業所	〒683-0067	鳥取県米子市東町171	米子第一生命ビル ☎0859-33-7843
山口営業所	〒756-0817	山口県山陽小野田市大字小野田6276	☎0836-84-7470
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15	セントラルビル ☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31	第2サンビル ☎092-781-5331
大分営業所	〒870-0105	大分県大分市西鶴崎1-1-11	トパーズM502 ☎097-523-4911
長崎営業所	〒854-0081	長崎県諫早市栄田町8-22	☎0957-26-0288
熊本営業所	〒862-0913	熊本県熊本市尾ノ上1-25-21	阿部ビルⅢ ☎096-381-8513
鹿児島営業所	〒892-0823	鹿児島県鹿児島市住吉町13-1	鹿児島港湾ビル ☎099-226-2255
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地3-1-1	日本生命那覇ビル ☎098-867-9663